

慈光山案内図



都幾山1300年の歴史

開山の釈道忠は鑑真の高弟

寺に伝わる縁起によると天武天皇2年(673)釈慈訓により、また同9年(680)役小角により、さらに唐僧鑑真の高弟である釈道忠により、開かれたと伝えられています。その後、貞観13年(871)の大般若経が伝来しているように、平安時代になるといっそう繁栄し、清和天皇(850~880)から「天台別院一乘法華院」の勅額を与えられたとされています。

頼朝が保護、最盛期には75の僧坊が

また、鎌倉時代になると、源頼朝から仏像と田畑1,200町歩の寄進を受けたとも言われ、幕府祈願寺として手厚い保護を得ました。このころ、一山75坊を擁する大寺院として、隆盛をきわめていたと思われます。しかし源氏滅亡とともに寺も衰え、室町・戦国時代は厳しい試練を受けました。江戸時代になると寺領100石が与えられ、その後の歴代住職の懸命の努力によって現在に至り、1,300有余年の法灯を保ち続けています。

文化財・宝物の見学・拝観、行事、花

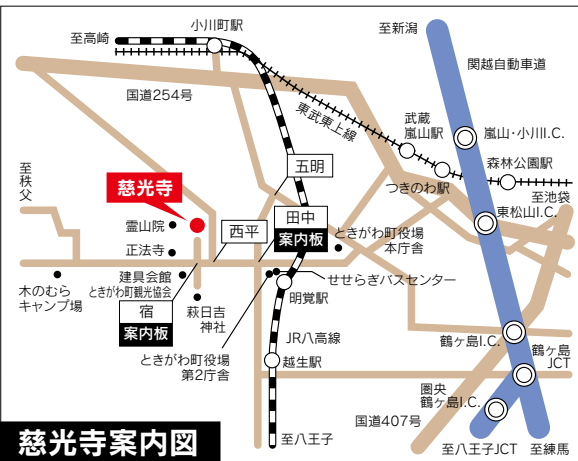
文化財・宝物の主なものは、本堂前にある文化財収納展示施設「金蓮蔵」に展示され、お気軽に拝観できます。入館料、小学5年生~高校生150円、大人300円。

- お開帳(木造千手観音立像) 4月第2日曜日・4月17日
- さくら 4月中旬~下旬
- シャガ 4月下旬~5月下旬

慈光寺 ☎0493(67)0040
〒355-0364 埼玉県比企郡ときがわ町大字西平386番地
<http://www.temple.or.jp/>

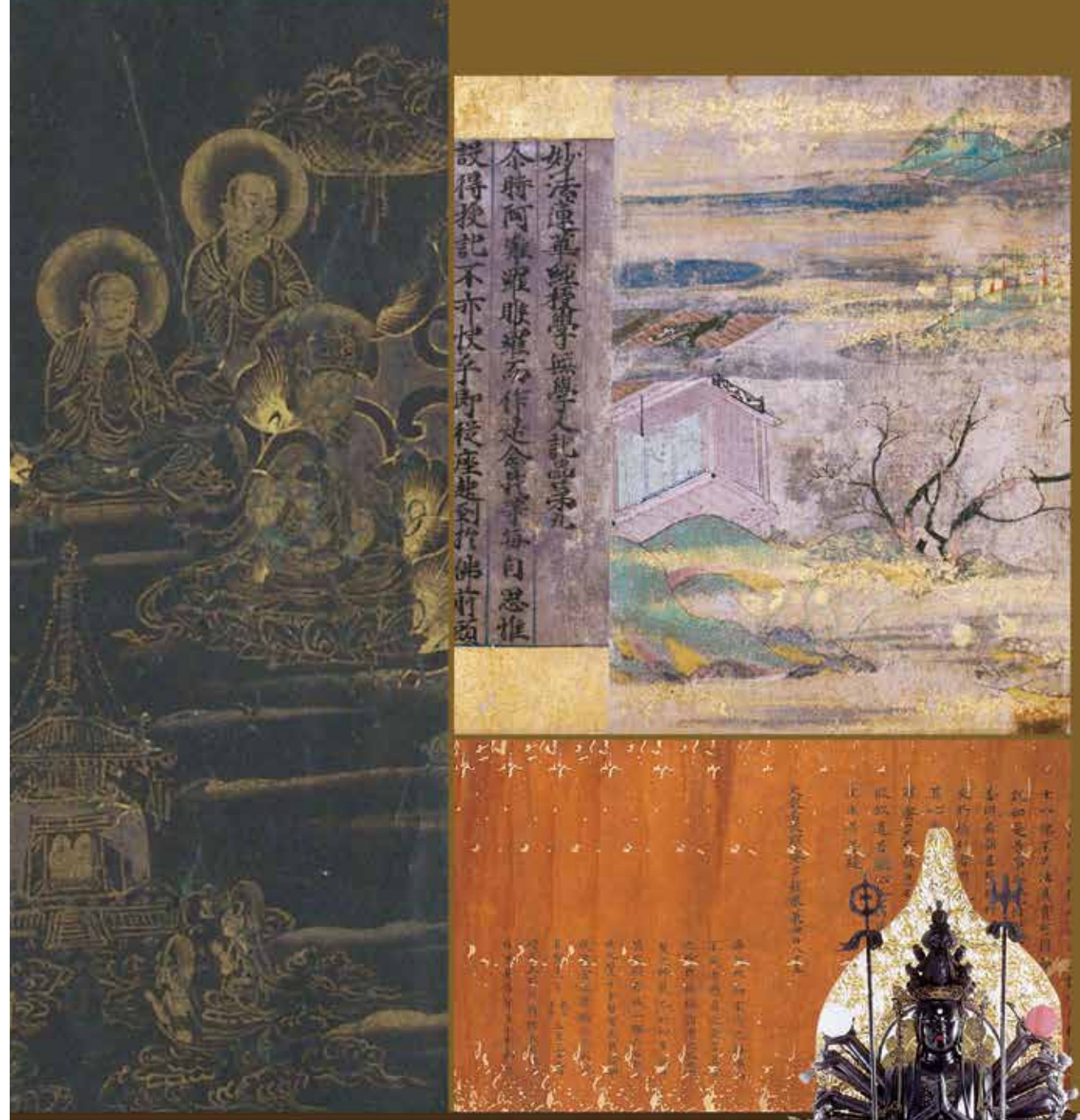
ときがわ町観光協会 ☎0493(81)5930
〒355-0364 埼玉県比企郡ときがわ町大字西平709番地3
<http://www.kankoutokigawa.jp/>

町教育委員会・産業観光課 ☎0493(65)1521
〒355-0396 埼玉県比企郡ときがわ町大字桃木32番地
<http://www.town.tokigawa.lg.jp/>



慈光寺案内図

- お車をご利用の場合
関越自動車道東松山I.C.または嵐山・小川I.C.より約18キロ
- 電車をご利用の場合
JR八高線 明覚駅、東武東上線 武蔵嵐山駅、東武越生線 越生駅から、それぞれ路線バス乗車してときがわ町内へ



関東最古の山岳寺院

坂東三十三所観音霊場第九番札所

国宝のある寺

慈光寺



慈光寺の文化財



ほけきょういつほんきょう・あみだきょう・はんによしんぎょう
法華経一品経・阿弥陀経・般若心経 (鎌倉時代)
 33巻あり、後鳥羽天皇と九条家ゆかりの人々によって、書写、奉納されたものです。

国
 宝



しほんほくしよだいはんにやきょう
紙本墨書大般若経 (平安時代)
 貞観13年(871)に書写されたもので、152巻が残されています。



国
 重文

どうしやう
銅鐘 (鎌倉時代)
 霊山院を創建した栄朝禅師により、寛元3年(1245)に奉納されました。



じこうじかいざんとう
慈光寺開山塔 (室町時代)
 釈道忠の開山塔と伝えられます。現在の塔は再建塔と推定されています。

国
 重文



こんどうみつきやうほうく
金銅密教法具 (鎌倉時代)
 密教の修法に使われていたもので、徳治2年(1307)の銘をもつ、鎌倉時代の基準作です。

国
 重文



県
 文化財

もくそうせんじゆかんのりゆうそう
木造千手観音立像 (観音堂本尊) (頭部：室町時代、体部：江戸時代)
 坂東九番札所観音堂の本尊です。毎年4月第2日曜日・4月17日にお開帳があります。



県
 文化財

もくそうほうかんあみだによらいざそう
木造宝冠阿弥陀如来坐像 (鎌倉時代)
 慈光寺山内の旧浄土院本尊として伝来しました。慶派仏師の作と推定され、宝冠が貴重です。

もくそうせいそもんじゆざそう
木造聖僧文殊坐像 (鎌倉時代)
 永仁3年(1295)慶派の仏師光慶によって慈光寺の文殊菩薩として制作されました。

県
 文化財



けんほんちやくしよくとくかわけい
絹本着色 徳川家康画像 (江戸時代)
 徳川綱吉の生母、桂昌院から奉納されたものといわれます。



あおいしとうば
青石塔婆 (鎌倉～室町時代)
 鎌倉～室町時代に造られたもので、大小の板碑が整然と並んでいます。中世の貴重な資料です。

県
 文化財



もくそうかんのんほさつざそう
木造観音菩薩坐像 (平安～鎌倉時代)
 阿弥陀三尊像の両脇侍として制作されました。地元仏師により作られたと考えられています。

町
 文化財

阿弥陀三尊像の両脇侍として制作されました。地元仏師により作られたと考えられています。



県
 文化財

そうこつきつけたりしこうじかいざんとうしゆつとひんいつかつ
蔵骨器付慈光寺開山塔出土品一括 (平安時代)
 開山塔修理に伴う調査により出土しました。平安時代の須恵器甕を使用した蔵骨器と前身の塔に使用されていた飾り金具です。



町
 文化財

わにくち
鱈口 (江戸時代)
 元禄8年(1695)に再建され、昭和60年に焼失したかつての釈迦堂軒先に掛けられていました。

町
 文化財

もくそうじゆういちめんかんのんほさつざそう
木造十一面観音菩薩立像 (室町時代)
 観音堂に安置され、畠山重忠ゆかりの像とも伝えられています。

ひえさんのうしちしゃはんぎ
日吉山王七社版木 (室町時代)
 サクラ材に彫った版木です。図柄は山王曼荼羅(さんのうまんだら)と呼ばれるものです。

町
 文化財



でんびしゃもんでんりゆうそう
伝毘沙門天立像 (平安時代)
 平安時代中ごろの作で、一木造りです。伝来した慈光寺最古の像です。

町
 文化財



たらよウジュ(多羅葉樹)
 慈覚大師円仁お手植と伝えられています。

県
 文化財



じこうじかんのんどう
慈光寺観音堂 (江戸時代)
 坂東三十三所観音霊場第九番札所の観音堂です。現在のものは、享和3年(1803)頃に再興されました。

町
 文化財